

飯伊地区 産業経済動向

No.559 2025/10

(7.11.25 発行)

飯田信用金庫
IIDA SHINKIN BANK
しんきん南信州地域研究所

<https://www.iidashinkin.co.jp/>

〒395-0044 飯田市本町 1-2

TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132



Contents

表 紙 写真：6年ぶりに飯田市で開催された「三遠南信しんきんサミット」(11月3日撮影)	
～開会式で来賓 佐藤 健飯田市長が歓迎の挨拶～	P 1
製造業 景況DIは前月から改善。食品製造で景況感好転の声が多い	P 2
建設業 10月の公共工事は前年比増加。9月の住宅着工は前年比46%減少	P 4
商業・サービス業 景況DIは前月から改善。全体として景況感は横ばいとの声が多い	P 5
三遠南信3シンクタンク共同調査 三遠南信地域におけるDXの実践事例～遠州地域の場合～	P 6
飯伊地区全産業景況DIの推移・主要経済指標	P 10

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (<https://www.iidashinkin.co.jp/>) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみなさまとともにを行っています。



100%植物系型インキ
〔ナチュラリス100〕を使用しました。

再生紙を
使用しています

地区内製造業の景況判断指数

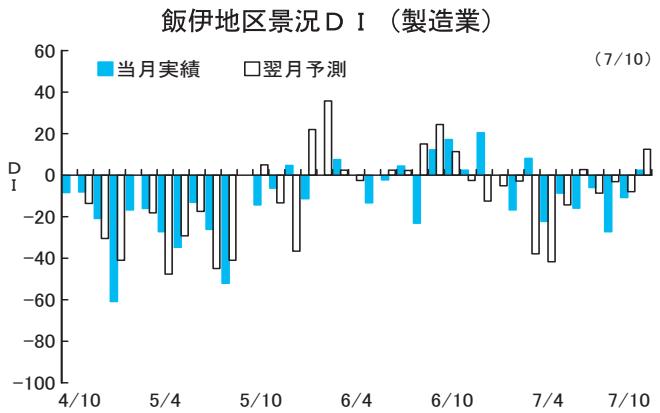
概況 景況D Iは前月から改善。 食品製造で景況感好転の声が多い

当月の製造業の業況判断指数（D I）プラス2.4で、前月から13.2ポイント上昇。翌月予測プラス12.2で、前月から20.1ポイント上昇。当月は、食品製造で景況感好転の声が複数聞かれた。また機械製造では好転、悪化の声が拮抗しており、悪化の声が多かった前月に比べ、全体での指標は改善し7か月ぶりにプラスに転じた。先行きは、全体的に横ばい見込みの声が多いが、その中で産業機器、医療機器向け製造や食品製造で好転見込みの声がやや多く、こちらもプラス圏となった。製造業全体として厳しい状況との声は継続して聞かれるが、年末に向けて好転となるか、今後の動向を注視したい。

主な業種の動き

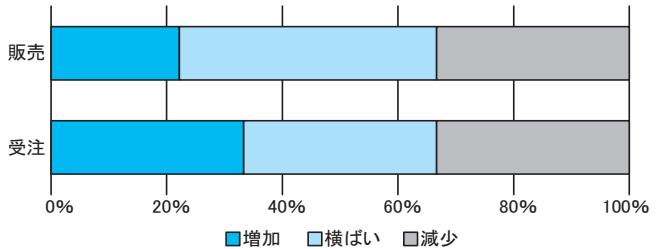
●電気・精密・光学

- 受注、販売… 販売、受注とも前月比は業者により増減分かれ。先行きについては販売、受注とも減少見込みの声がやや多い。
- 景況感…… 当月は業者により見方が分かれるが、悪化との声がやや多い。先行きは横ばい見込みの声が多い。



【D I (ディフュージョン・インデックス)】とは…
景気にに関する投票を指数化したもので、全体の回答数を分母、良い、やや良いとの回答数を分子にした割合から、全体の回答数を分母、悪い、やや悪いとした回答数を分子にした割合を引いた数値。
「先月と比べて景気が良い」との回答が多ければプラス、「先月と比べて景気が悪い」との回答が多ければマイナスとなる。

電気・精密・光学向け部品前月比回答割合



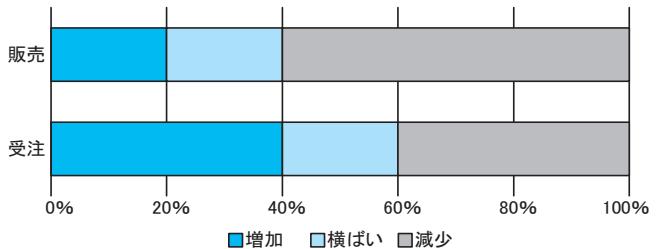
〔企業からのコメント〕

- ・「金属切削加工部品の動きは、回復の兆しが見えない」「客先による増減はあるが、総合としてみると状況変わらずが続いている」「半導体業界市場の低迷の影響が大きい。2026年、2027年は在庫調整、減、2028年より上昇と大手顧客は見ている」

●半導体、液晶製造装置向け機械部品

- 受注、販売… 前月比は販売、受注ともに業者により増減分かれが、販売は減少の声が多い。先行きは増加見込みと減少見込みとの声が拮抗。
- 景況感…… 当月の景況感は業者により見方が分かれ。先行きは横ばいの声が多い。

半導体、液晶製造装置向け部品前月比回答割合



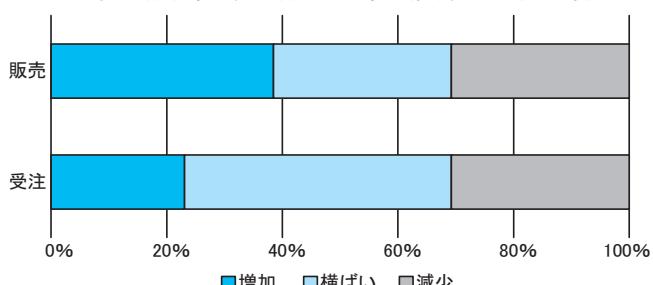
〔企業からのコメント〕

- ・「短納期のAI関連需要が発生。継続性は現時点で不明ながらも、年末年始案件の需要が積み増しとなってきている」「9月決算に合わせて10月分を前倒したため、10月は大きくダウン。11月以降は一時的ではあるがまとまった注文があり、回復傾向となるが先行きの不透明感は継続」「半導体製造装置関連市況は大きな変化はなく年度当初より低迷が続いているが、一部韓国系、中国ローカル系半導体メーカーに動きが見られ始めた。その結果受注が増加してきている。但し短納期での受注で一過性の可能性もあるのではないかとみている」
- ・「先月から大きな変化はなく、横ばい傾向が続いている。AI向けDRAMメモリ系のエンドユーザーからの引き合いは引き続き旺盛にあるが、その他は伸び悩んでいる状況。また、中国新興半導体メーカーの台頭により価格勝負となることが予測される機種では廉価版の開発を急ピッチで進められており、最初に工程認証を受けられた装置メーカーに軍配が上がることになる」「半導体業界の足踏み状態は継続、2026年は我慢、2027年から動き出すことが示唆されているが、それまでは新規顧客、新規案件に注力する」「半導体関連市場の本格的な回復は来年度以降(2026年秋)との見方が一般的」

●産業機器、医療機器向け等機械部品

- 受注、販売… 販売、受注ともに前月比は業者により増減分かれが、販売は増加の声がやや多い。先行きについては増加見込みと減少見込みの声が拮抗している。
- 景況感… 当月、先行きとも業者により見方が分かれるが、先行きは好転を見込む声が悪化を見込む声よりも多い。

産業機器、医療機器向け部品前月比回答割合



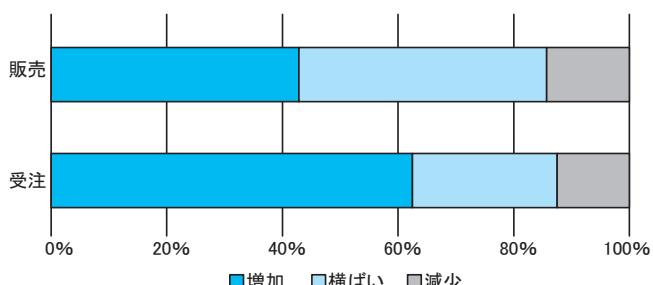
[企業からのコメント]

- 「防衛費の決定を受け、防衛品の製造が今後も増えていく予定。航空機部品も増加していく見込み。他の業種はあまり増えてこない」「同じ金属製造業でも、取り扱う部品によって景況感が二極化している」「物流が小ロットで、量産品が極めて少ない」「鋼材屋でも荷動きが悪いとの声が多い」「相変わらず製造業全般的に厳しい風が吹いている」
- 「10月から、アルミが少し値上がり」「全ての原材料が高止まり傾向となっており、次月以降一部の材料と外注費が微増となる予定」

●食品製造（漬物、半生菓子、菓子原料、その他食品）

- 売上… 菓子の前月比は横ばい～やや増加、先行きは業者により増減分かれ。食品全体では増加の声が多く、先行きは増加見込みと減少見込みの声が拮抗している。
- 景況感… 当月、先行きともに業者により見方が分かれるが、当月はやや好転との声が多く、先行きは横ばいとの声が多い。

食品製造 前月比回答割合



[企業からのコメント]

- 「食品類各社の値上げラッシュが続き、ますます節約志向が強くなった。お米も高止まりで嗜好食品の買い上げ点数は減少が続く」「物価高、漬物関係は米価格の高止まりの影響あり、荷動き鈍い」「インフレによる実質賃金の目減りが心配」「値上げを検討、実施するところが多い」
- 「原料価格の上昇が止まらない」「食品の値上がりが目立っている。原材料についても卵を中心に、値上げの品目が途切れることがない」

●水引製品、冠婚葬祭・祝儀用品、正月・盆用品

- 売上… 前月比はやや増加、先行きはやや増加～増加。景況感はやや悪化～横ばいで、次月以降は横ばい～やや好転。

[企業からのコメント]

- 材料の仕入が遅れ11月にずれ込む商品があり、昨年より売上が落ちたが、他の商品の値上げにより順調に推移した。
- 本年度の西の市は二の酉（11月24日）までとなるが、一の酉（11月12日）での視察報告では例年通りの賑わいが見られ安堵したところ。年末年始の初詣・戎まつり・初午祭等、その日の天候に消費動向が大きく左右される。
- 例年通り、各社が正月飾りの製造で販売を伸ばしている様子。他の商品が落ち込んでいるが、利益確保はできている。

●上記以外の製造業

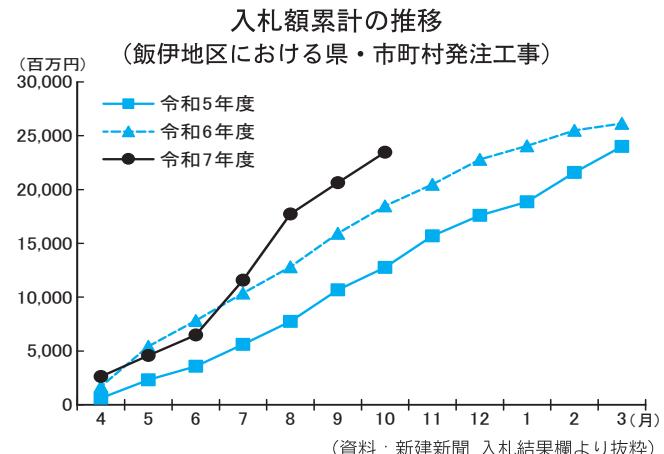
- 建築用金属製品… 販売は前月比、前年比とも横ばい、先行きはやや減少を見込む。景況感は当月、先行きともやや悪化という。
- 自動車向け部品… 販売は前月比でやや増加、先行きもやや増加を見込むという。景況感については、当月、先行きともにやや好転。
- 印刷… 販売は前月比増加、前年比は減少。原材料単価は上昇、先行きも上昇を見込むという。

[企業からのコメント]

- 現在、どの地域も新規物件が少ない。現状の物件が少なすぎるため、少しでも営業範囲を広げられるように努める。
- 前月比は増加したもの、前年対比は大幅にマイナスとなった。前年のスポット品のカバーができなかった。
- 業者より、紙・インキ代が12月以降値上げの話がある。最低賃金も上がり賃金も上げなければならないが、見積競争・入札により資材分程度しか値上げできないのが現状。
- 「工務は以前退職した社員を採用した。ただ営業の求人に応募がない」「受注を増やすための営業人員増加を検討中」

官公需 概況 10月の公共工事入札金額は前年比で11.7%増加、一昨年比では36.6%増加

- 公共工事入札額… 当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、28.3億円（11月15日調査時点）。前年に比べ11.7%増加、2年前との比較では36.6%の増加。
- 景況感…………… 当月は業者により見方が分かれるが、横ばいとの声が多い。先行きも同様で横ばい見込みの声が多いが、次いでやや好転を見込む声が多い。
- 原材料価格…………… 当月は横ばいとやや上昇との声が半々。先行きはやや上昇を見込むとの声が多い。



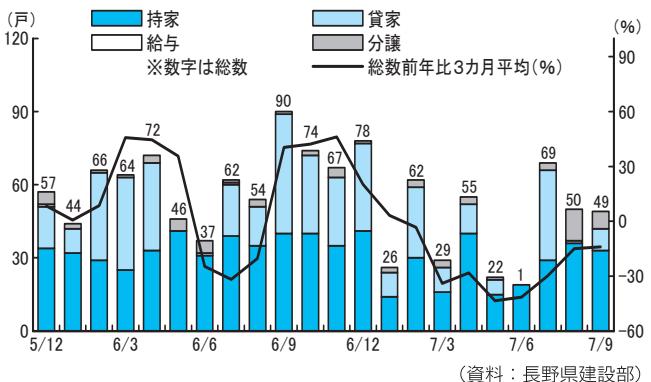
[企業からのコメント]

- ・「公共工事の発注が進んでおり、受注確保に取り組んでいる。前年には及ばないが、受注残高は伸びてきている」「比較的大規模な工事が未完となっているため、前年比で工事高が減少」「今期も災害関連工事は見込めない状況。維持工事および民間・下請けなど、自社のできる範囲で受注する」
- ・「人員を募集しているが、応募はない」「現状は技術者不足。技術者、営業等を通年で募集」「施工社員の不足が続いている。中途採用に力を入れる」
- ・「ソフトウェアやDXに関する設備投資を実施」「設備に関しては、古くなったものを順次更新済」「設備は不足するものもあるが、現状維持」「現状では新たな設備投資の予定はない」

民需 概況 令和7年9月の住宅着工戸数は49戸で前年比46%減少。 分譲は増加も、持家と貸家が減少し、2か月連続で前年比マイナス

- 住宅着工戸数… 当地区的9月の住宅着工戸数は49戸。前月比2%減、前年比では46%減。持家の戸数は33戸で前年（40戸）から減少。貸家は9戸で前年（49戸）から大幅に減少、分譲は7戸で、前年（1戸）から増加。
- 景況感…………… 当月は横ばいとの声が多い。先行きは横ばい～やや好転で、悪化見込みの声はない。
- 原材料価格…………… 当月は横ばい～やや上昇。先行きについても同様で、下降との声はない。

飯田市・下伊那郡 住宅着工戸数の推移（用途別）



[企業からのコメント]

- ・民間住宅の水回り工事など、細かい仕事が多い。

建設資材等 概況 10月の生コンの売上は前月比、前年比ともに業者により増減分かれ。骨材は前月比増加、前年比はやや増加～増加

- 生コン… 売上は前月比、前年比ともに業者により増減分かれ。
- 骨材… 売上は前月比増加、前年比はやや増加～増加。

[企業からのコメント]

- ・10月の主な出荷はリニア関連工事、三遠南信工事、発電関連工事、工場・マンション建設等に関わるものだった。リニア関連工事の出荷量は当月出荷量の約5割。
- ・「生コン向けの骨材出荷が増えた（リニア関連）」「業界各社ともに生コンへの出荷が好調で、前年比、前月比ともに売上がアップした」
- ・リニア関連の工事が始まってきており、担当する工場はうれしい事であるが、それに伴ってリニア工事に関連する工場以外でも生コン車が足りない状況になることが大いに予想される。変化する需要と供給のバランスと、金額の問題もあり単純には増やせない。どの時期で増車するか、難しい。

商業・サービス業

概況 景況D Iは前月から改善。全体として景況感は横ばいとの声が多い

当月の商業・サービス業の業況判断指数（D I）はマイナス5.9で、前月から10.8ポイント上昇。

当月は卸売業と飲食業、宿泊業の一部で景況感悪化の声が聞かれたが、全体としては横ばいとの声が多くかったため、指數は前月から改善した。例年この時期に話題となるマツタケは不作で、昨年に比べ入荷・売上ともに大幅に減少したという。また物価高に加え、10月からの最低賃金上昇による業績への影響を指摘する声が複数聞かれた。

次月以降は、宿泊業を中心に悪化を見込む声が多くある。寒い季節となり、感染症による客足への影響を懸念する声も複数聞かれた。



主な業種の動き

●小売業 概況 売上の前月比はやや増加～増加。景況感は横ばい

売 上 … 前月比はやや増加～増加。前年比は業者により増減分かれれる。

景況感 … 当月は横ばい。先行きも大きな変化はない見込みという。

〔企業からのコメント〕

- ・米価は高止まり、メーカー値上げも引き続き発生。青果物は高く、マツタケは不作。
- ・寒くなり先月よりは客足増えるも、昨年同時期と比べて客单価は低く、買い控え傾向。

●卸売業 概況 売上の前月比は業者により増減分かれれる。景況感はやや悪化～横ばい、先行きは業者により見方が分かれれる

売 上 … 電設資材は前月比増加。青果、建設資材は前月比やや減少。食肉は横ばい。

〔企業からのコメント〕

- ・野菜は、昨年大豊作だったマツタケは入荷大きく減少。他の山きのこも出荷少なく、大幅な売上減少。キャベツやレタスなど、昨年高値だった品目が安くなるなど、野菜全体で入荷は昨年比増加も、価格安で売上は減少した。果実は、地物の主力のりんご類は入荷増、価格安で昨年並みの売上。出荷が終了となる梨類も昨年並みの売上となったが、柿類、ぶどう類は売上伸びず。栗の出荷も少なかったことが影響し、果実全体では売上減少となった。
- ・暖房季節商品やLED照明が好調。2027年で国内の蛍光灯が生産終了となる余波がすでに出ており、LED器具の供給量不足および値上げが業界全体の悩み。また、2027年にはエアコンの省エネ基準が引き上げられ、予想では数万円の価格アップおよび高性能モデルのみしか基準をクリアできないため、こちらも商品の取り合いとなって在庫確保が非常に難しくなると思われる。

●飲食・宿泊・運輸業 概況 売上の前月比は、飲食業は減少～横ばい、宿泊業は業者により増減分かれれる。景況感は飲食業、宿泊業とも業者により見方が分かれれる

売 上 … 飲食業は前月比減少～横ばい、宿泊業の前月比は業者により増減分かれれる。運輸業は前月比増加。

〔企業からのコメント〕

- ・「10月は中旬に宴会が多く入った。前年が悪かったこともあり、今月の前年比での売上は良かった。急に寒くなって、インフルエンザの流行がマイナス要因」「突然悪くなった。インフルエンザやコロナ等の感染症の影響もあって、動きが悪い。今年も忘新年会等の動きは難しい」
- ・「小グループによる旅行形態に移行しつつ、高齢者は比較的動いている」「11月中旬～12月中旬までの星空ナイトツアーの休業により、個人客が動かなくなっている。忘年会も昨年同様極めて少ない状況」「予約の人数が減少しているため、やや料金を値上げして対応しているが、仕入物価の値上がりにより利益が出せない。料金だけ上げても、サービスや接客、調度品、すべてのレベルを上げて値段に見合ったことをしていかないと、次につながらない」「旅行客の増加により宿泊客も増加。また、工事関係の宿泊が安定している」
- ・「最低賃金上昇の影響がどうなるのか、不安」「今月から、最低賃金上昇に伴いパート従業員を賃上げ」
- ・「コロナ前との売上対比は8.5割強で、タクシー運行回数は7割弱。今後においても物価高騰、賃金アップ等、先行き不安のため利用者の動向を注視していく必要がある。10月の最低賃金改定により、固定費の増加が徐々に響いてくるのは間違いない。時間当たりの利用者が少なくなる深夜の時間帯の労働力確保が、業界全体としても大きな問題になっている。」

三遠南信地域におけるDXの実践事例

～遠州地域の場合～

(一財) しんきん経済研究所 主席研究員 澤柳 俊睦

1. 浜松地域のDX～スタートアップを中心～

浜松地域は、古くからものづくりの産業集積地として発展してきた歴史を持つ。日本楽器製造(現ヤマハ)や浜松信用金庫(現浜松いわた信用金庫)といった地元の財界人が創設に携わった老舗企業が存在する一方、ヤマハやスズキといったグローバル企業の拠点が置かれている。こうした老舗企業には、現状維持に満足せず、デジタル技術を梃子に、従来の組織文化から変革を図る姿勢がある。

DX推進には、経営トップの決断に基づくトップダウンが重要と言われる。テクノロジー企業が突如自社の市場に参入して総ざらいし、あるいは、デジタルネイティブ化した現在の消費者のニーズに応え続けるためには、老舗企業、大企業といえども、技術の発展や政治情勢、経済トレンドを迅速にキャッチし、自社に変革を起こしていくことに危機感を持っているのである。

一方、ヤマハや、スズキでは、現場の課題を起点としたボトムアップ型DXも進んでいる。現場の生きた情報を反映し、社員のモチベーションを維持して成長につなげるためには、現場の経験に基づく課題や改善策を経営課題として経営層に提案していく姿勢も必要なのである。

2. 浜松市でスタートアップが盛んなわけ

一方近時は、デジタル技術を基盤としたスタートアップが、DXを使い、地域の課題解決やグローバル市場に挑戦している。

浜松市では、2019年度から2023年度の5か年で、105社のスタートアップが創業した。市外からのスタートアップ進出数も81社に及ぶ。

こうしたスタートアップが提供する具体的なDX事例の中には、専門分野に特化したソリューションを提供し、あるいは新しいビジネスモデルを創出して、浜松地域の大企業・中小企業が導入した実績があるものも少なくない。

このように、浜松市はスタートアップの創出に一定程度成功していると思われるが、それには、上述した、伝統産業の「事業変革」への意欲や現場主導・ボトムアップ型DXの浸透といった要因も挙げられるが、官民連携によるエコシステムの形成も大きい。

浜松市では、市、会議所、民間企業が連携し、人材育成から資金・マッチング支援まで多層的なエコシステムを形成しており、個々の企業が孤立することなく、相互に学び合い、成長できる環境が生まれている。

中でも、浜松市が始めたファンドサポート事業は、浜松市が選定した「認定VC」の投資活動と協調して、認定VCから出資を受けたスタートアップへ、浜松市からも追加の交付金を提供するもので、いくつかの要件を満たせば、多い場合には4,000万円の交付金が提供される。

浜松いわた信用金庫も、コワーキングスペースや作業ブース、ミーティングルームはもちろんのこと、ものづくりの街浜松らしく、3Dプリンターやレーザーカッターなどを備えたスペースなどからなるスタートアップ支援施設「FUSE(フェューズ)」を運営している。ここでは、浜松いわた信用金庫の職員が常駐し、「伴走支援」も行っている。今回は、「FUSE(フェューズ)」に支店を持つ3社を紹介する。

2 目指すべき将来像

(1) 現状評価①

[第1期計画の達成状況と評価]

- ◆スタートアップ・エコシステムに関するイベントの開催数・資金調達額及び進出数の指標は、概ね達成し、本県がスタートアップが集まる環境が整いつつある。
- ◆スタートアップの創業数は増加傾向にあるが、目標数値には届かず、より一層の取組が必要である。
- ◆企業、大学等との新規連携件数は未達であるが、地域経済の継続的な成長のためには、市内スタートアップに限らず、地域企業とスタートアップとの連携が重要である。

	新規数	既存数	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	累計
スタートアップの創業数(年間)	10社	30社	16社	24社	18社	22社	25社	105社
スタートアップ・エコシステムの開催数(年間)	102回	300回	117回	145回	321回	299回	374回	1,256回
年内スタートアップのファンドによる資金調達件数(年間)	11件	30件	29件	56件	16件	46件	22件	53件
年内スタートアップ等と企業、大学等との新規連携件数	25件	75件	29件	28件	37件	33件	32件	159件
浜松からのスタートアップ進出数	4社	12社	4社	25社	19社	19社	14社	81社

HAMAMATSU CITY

1 はじめに

(3) 推進体制

- ◆浜松市のスタートアップ・エコシステムに関わる17団体により組織する「浜松市スタートアップ戦略推進協議会」において、本戦略を推進する。

所属	区分
1 国立大学法人静岡大学	大学・研究機関
2 国立大学法人浜松医科大学	
3 学校法人光風学園創成大学院大学	
4 日本政策金融公庫 浜松支店	
5 株式会社静岡銀行	支援機関
6 浜松磐田信用金庫	
7 浜松商工会議所	
8 公益財團法人浜松地域イノベーション推進機構	
9 地方行政法人 日本貿易振興機構 浜松貿易情報センター	
10 ヤマハ株式会社	民間サポーター
11 スズキ株式会社	
12 浜松ホトニクス株式会社	
13 ㈱武田リック＆ネイジメントホールディングス	
14 遠州鉄道株式会社	
15 静岡ベンチャースタートアップ協会	スタートアップ
16 静岡県	自治体
17 浜松市	

HAMAMATSU CITY

(出所：浜松市スタートアップ戦略～第2期～(浜松市HP)

3. 実践事例

(1) 在庫管理のDX

モノの流れの未来を創る

株式会社 エスマット



代表取締役 志賀 隆之 氏(左)
林 英俊氏(右)



会社 URL

●拠点開設の経緯

2014年11月「スマートショッピング」という社名で創業しました。創業当初は、個人で買ったモノが無くなったら自動で補充されるようなサービスをBtoCで考えましたが、拡販できませんでした。

2018年12月ハードウェアで重さを量り、物理的に無くなったときに自動発注するシステムを開発したところ、BtoBでニーズがあることがわかりました。2024年7月に主要業務を社名から想起できるようにと「エスマット」に変更しました。

●今後販促したいサービス

当社の主力サービスは、「スマートマットクラウド」です。これは、マット（体重計のような物）に置くだけで在庫管理・自動発注をクラウドで行うものです。

従来の在庫管理システムでは在庫を人間が数える必要がありましたが、当社のシステムでは冷凍倉庫やク

リーンルームも含めリアルタイムに実在庫がわかることが最大の売りです。

●今後協業したいビジネスパートナー

お客様の業種構成は、製造業55%、医療22%、その他23%で、複数のプライム上場企業を含め1,200社超の導入実績があります。

製造業の多い浜松地区では、より多くのお客様に、面倒な在庫管理・発注業務が無くなるスマートマットの便利さを体感してもらいたいと思っています。

●浜松オフィスのPR・今後の抱負

2024年3月浜松オフィスをFUSE内に開設しました。

2年後に上場を目指し、3年後には国内で断トツのシェアをとり、世界展開したいと考えています。

在庫の2割はコストと言われ、在庫管理は万国共通の課題ですので、あらゆる業種の課題解決業を目指していきます。

社 名	株式会社エスマット
本社住所	東京都品川区東五反田2-9-5 サウスウイング東五反田
代表者名	代表取締役 志賀 隆之 代表取締役 林 英俊
主要事業	IoT在庫管理 工程カイゼンDX
従業員数	60名(パートを含む)
拠 点 名	浜松オフィス
拠点住所	浜松市中央区鍛冶町100-1 ザザシティ浜松中央館B1F
FUSE 内	



(2) 生産計画のDX

ものづくりを、もっとクリエイティブに

株式会社 スカイディスク



会社 URL

代表取締役 CEO 内村 安里 氏 (左)
取締役 CSO 後藤 健太郎 氏 (右)

●拠点開設の経緯

当社は、2013年10月に創業しました。当初は大手製造業向けに事業を展開していましたが、2022年に中小・中堅企業向けサービスとして、生産計画を自動立案できる「最適ワークス」を開発しました。

元々、九州の会社ではありますが、製造業が盛んな東海地区・浜松に顧客が多くいたため、浜松に拠点を設けることは自然な流れでした。そこで、FUSE に2024年6月、浜松オフィスを開設しました。

●今後販促したいサービス

「最適ワークス」の拡販を目指しています。特徴①は、導入コストが安い。月額15万円に設定しているので、日本一コスパが良いと自負しています。特徴②は、導入スピードが速い。通常1~2年かかる導入期間を最短3ヶ月で運用に乗った事例もあります。特徴③は、誰でも簡単に使えます。専任エンジニアを必要とせず、自社内で運用できるノーコードツールです。

これらの特徴により、生産計画と実績管理ができる

ようになるため、原価管理も可能です。また、在庫情報とも連動することができます。

●今後協業したいビジネスパートナー

2025年4月に浜松いわた信用金庫とビジネスマッチング契約を結びました。今後は、地元の税理士などの士業の方、地場のベンダー、商社などの企業様とパートナーとして連携していきたいと考えています。

●今後の抱負

浜松にオフィスを構えてはいますが、現状は常駐スタッフが不在のため、常駐スタッフの配置も検討していきたいと考えています。「最適ワークス」を拡販し、国内で一定のシェアの獲得を目指すとともに、次の新しいプロダクトサービスも並行して開発したいと考えています。

また、現在フィリピン・ベトナム・タイで導入実績がありますが、より多くの海外に工場を持つ日系企業に対してもサービス提供できるよう、海外展開強化も視野に入れています。

社 名	株式会社スカイディスク
本社住所	福岡県福岡市中央区舞鶴2-3-6 赤坂プライムビル4F
代表者名	代表取締役CEO 内村 安里
設立日	2013年10月1日
主要事業	AIを活用した生産計画DX支援
従業員数	30名(パートを含む)
拠点名	浜松オフィス
拠点住所	浜松市中央区鍛冶町100-1 ザザシティ浜松中央館B1F Co-startup Space & Community FUSE内

The graphic highlights the following features:

- Production Planning DX starting now!
- Mitsoteki Works (最適ワークス)
- Solve problems like "What products, how many, by when?" with production planning DX.
- SaaS from monthly fee to fixed price utilization.
- Next-generation AI production scheduling.
- Introduction effects, etc. (including icons for cost reduction, delivery time reduction, zero defects, 98% efficiency, and 10% increase).

(3) 書類管理のDX

データで未来を創る

codeless technology 株式会社



会社 URL

代表取締役・CEO 猿谷 吉行 氏(左)
浜松支店長 小坂 太郎 氏(右)

●拠点開設の経緯

当社は、2020年4月に設立。ノーコードによりさらに簡単にデータ入力システムを作成する「Photolize」を開発しました。

2022年には浜松いわた信用金庫主催のフェスティバルチャレンジに参加し、特別賞を受賞しました。これを機に多くの支援を受け、2023年FUSE内に浜松支店を開設しました。

●今後販促したいサービス

「Photolize」をさらに進化させた「そのままDX」の拡販を目指しています。とにかく、書類をスマホで撮って送るだけで、その書類と同じデザインのデータ入力フォームができるのです。メリットは①現場にIT担当者がいなくても導入可能②現行の業務フローを変更せずに利用可能③自動的にデータベースの管理ができ業務分析を行えるなどがあります。ITが苦手な現場の人が楽に使って、自動的にデータベースができるのですから驚きです。

●今後協業したいビジネスパートナー

主に3つのパートナーを求めてています。

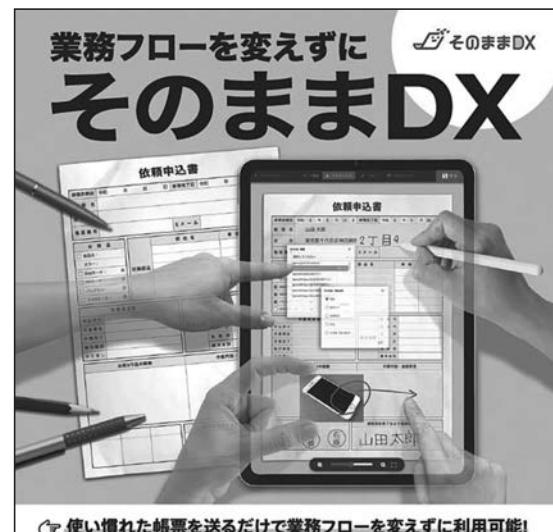
第1に、当社のサービスを使ってみて実際のDXの成果を上げてみる浜松市のモデルケースになっていただけのトライアル事業者様。第2に販売面で協力して、トスアップしていただける販売パートナー。第3には、当社の得意分野であるデータ分析とコラボできるコンサルティングパートナーが欲しいと考えています。

●浜松支店のPR・今後の抱負

当社は、本社以外で唯一浜松市に拠点を設け、支店長を配置するなど、浜松市を大変重視しています。浜松市は製造業が盛んでポテンシャルも高く、DX実施効果が出やすい都市と推察されます。是非とも、浜松市にDXのコンソーシアム（共同事業体）を設立し、地域と連携しながら浜松市を日本のDXの先進地したいと思っています。

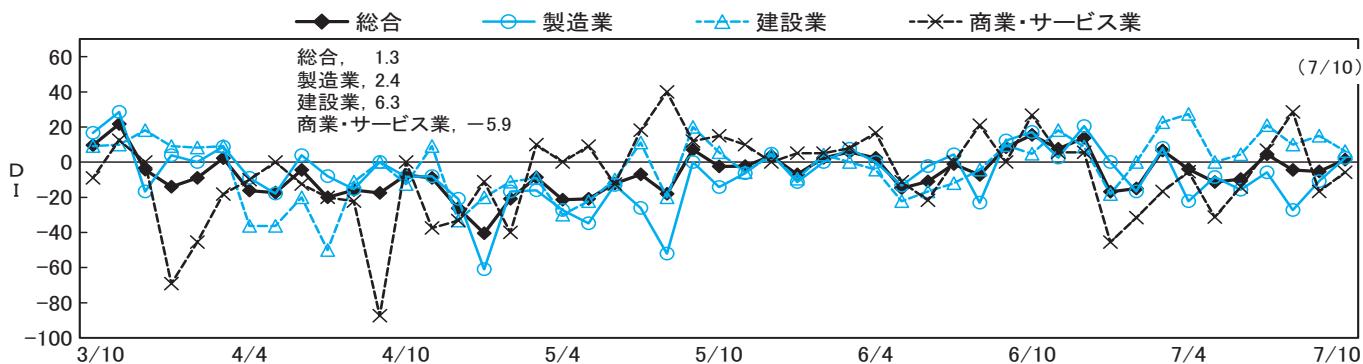
また、スマートスタートでもいいので、「そのままDX」を体感してもらい、より多くのお客様にその価値を実感してもらいたいとも考えています。

社名	codeless technology 株式会社
本社住所	東京都品川区東五反田2-5-2 THE CASK GOTANDA 903
代表者名	代表取締役・CEO 猿谷 吉行
主要事業	そのままDXシステムの開発 運営管理・販売
従業員数	12名(パートを含む)
拠点名	浜松支店
支店長	小坂 太郎
拠点住所	浜松市中央区鍛冶町100-1 ザザシティ浜松中央館B1F FUSE内



飯伊地区全産業景況DIの推移

飯伊地区景況DI（本誌調査）



飯伊地区主要経済指標

主 要 指 標		実 数	前 月 比	前 年 同 月 比	前々 年 同 月 比	令 和 元 年 同 月 比
倒 産 件 数 (負債総額1千万円以上)	県 内	9 件	(前月 8 件)	(前年同月 10 件)	(前々年同月 9 件)	(令和元年同月 6 件)
	飯 伊	1 件	(前月 1 件)	(前年同月 1 件)	(前々年同月 0 件)	(令和元年同月 0 件)
住 宅 着 工 戸 数 (飯田市、下伊那郡 総数) (9月)		49 戸	△ 2.0 %	△ 45.6 %	16.7 %	△ 30.0 %
有効求人倍率 (パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内) (9月)		1.29 倍	(前月 1.30 倍)	(前年同月 1.41 倍)	(前々年同月 1.53 倍)	(令和元年同月 1.45 倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新 車	2,030 台	△ 10.5 %	△ 7.9 %	△ 8.1 %	13.0 %
	中古車	806 台	1.3 %	△ 8.5 %	9.5 %	5.9 %
軽自動車新規登録台数 (全国軽自動車協会連合会) (9月)	新 車	4,211 台	36.7 %	△ 4.0 %	△ 4.6 %	△ 27.7 %
	中古車	1,053 台	23.9 %	17.3 %	9.5 %	7.6 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	105,720 台	4.5 %	19.7 %	2.4 %	△ 6.5 %
	出	107,435 台	5.3 %	△ 0.8 %	1.3 %	△ 6.2 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	65,954 台	2.3 %	△ 4.7 %	△ 6.3 %	△ 18.7 %
	出	64,402 台	2.6 %	△ 0.2 %	△ 2.4 %	△ 17.3 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	13,597 台	△ 1.6 %	△ 33.5 %	△ 39.0 %	△ 21.6 %
	出	12,697 台	5.2 %	△ 15.1 %	△ 23.1 %	△ 26.5 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	54,361 台	3.9 %	△ 10.3 %	△ 1.1 %	23.7 %
	出	50,398 台	3.1 %	△ 16.2 %	△ 12.7 %	12.8 %
中央道利用台数 (座光寺スマートインター分)	入	47,703 台	5.3 %	△ 13.8 %	14.4 %	— %
	出	50,478 台	7.0 %	10.0 %	28.3 %	— %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		115 件	△ 29.9 %	△ 21.8 %	△ 22.8 %	△ 22.3 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		5 件	(前月 5 件)	(前年同月 0 件)	(前々年同月 0 件)	(令和元年同月 1 件)
高速バス乗車人数	飯田～ 新宿	22,234 人	0.6 %	0.5 %	5.6 %	18.7 %
	飯田～ 名古屋	15,288 人	9.0 %	5.7 %	7.5 %	△ 20.5 %
	飯田～ 長野	4,820 人	9.2 %	13.1 %	13.0 %	△ 45.5 %
	伊那・駒ヶ根 ～新宿	18,418 人	△ 1.6 %	△ 1.4 %	3.4 %	15.3 %
市内循環バス乗車 人 数	左回り	3,072 人	8.2 %	0.1 %	△ 2.1 %	△ 14.5 %
	右回り	3,251 人	8.4 %	6.0 %	0.7 %	△ 10.1 %

*産業経済動向No.558(2025/9 令和7年10.25発行号)「軽自動車新規登録台数(新車)」の数値に誤りがありました。正しくは以下の通りです。お詫びして訂正いたします。

主 要 指 標		実 数	前 月 比	前 年 同 月 比	前々 年 同 月 比	令 和 元 年 同 月 比
軽自動車新規登録台数 (全国軽自動車協会連合会) (8月)	新 車	3,080 台	△ 17.0 %	1.0 %	△ 8.5 %	△ 15.3 %